

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042-754-3604
担当部課名	生涯学習部	図書館	管理	係
事務事業名	図書館協議会経費		事業コード	15110

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	~63
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

図書館法第14条、同法第15条、同法16条

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関として設置している。図書館協議会委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が6名任命している。		図書館協議会委員	
		対象数	6名
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
図書館協議会 年4回(6月、9月、12月、3月) 開催出席委員数 延べ20名 図書館協議会経費 252千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度
		なし	

## 4 評価指標

指標名	図書館協議会委員の出席率	図書館協議会委員報酬額の実時間単価
指標式	図書館協議会出席延べ人数÷図書館協議会委員全員出席数24名×100 (平成14年度は、委員全員出席者数は18名)	図書館協議会委員報酬額(12,600円)÷平均開催時間数
指標設定の意図	各年度における図書館協議会委員の出席率の数値を比較する。	各年度における図書館協議会の開催時間数から委員報酬の実時間単価を比較する。

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	91.7	83.3	a 83.3	b 100.0	100.0
指標	8,172.0	6,502.0	c 5,930.0	d 5,930.0	5,807.0
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	278	252	303	227
	人員・時間数	(0.05人)	(0.05人)	(0.05人)	(0.04人)
	人件費	820	820	820	615
	その他経費	0	0	0	0
	合計	1,098	1,072	1,123	842
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 B ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 91.7%
	B:一部達成していない(100%> 80%)	
	C:達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} = \frac{83.3}{100.0} \times 100 = 83.3\%$	$\frac{c}{d} = \frac{5,930.0}{5,930.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
--	--	----------------------------

理由: 図書館協議会の開催にあたっては、全員出席を想定して開催日等を決定しているが、8割程度の出席率となっている。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A:適応している	理由: 図書館協議会のあり方、委員構成等について、平成11年の図書館法の改正にあわせ検討しており、今後とも館長の諮問等に応じる役割を担うものとして設置している。
	B:一部適応していない	
	C:適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A:妥当である	理由: 図書館協議会委員が担う役割及び平均開催時間数からみて、妥当である。
	B:一部妥当でない	
	C:妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由: 図書館運営等につき、外部の専門者として意見、諮問を受けるものであり、代替の可能性はない。
	B:代替の可能性低い	
	C:代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A:満足できる	理由: 図書館運営等に対し、外部の専門者として図書館協議会委員の意見を活かすことで、利用者の側にたった事業運営等ができる。
	B:一部満足できない	
	C:満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A:有効である	理由: 図書館協議会から諮問等を受けて事業運営等に活かすことは、生涯学習を推進するうえで有効である。
	B:一部有効である	
	C:有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 図書館協議会としての位置付け(諮問を行う等)からみて、協議会そのものの成果等を見ることは判断しがたい。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 図書館協議会の役割は必要である。各回開催時間数が異なること等からも、一律のコスト削減・改善は計りづらいが開催回数を見直す等必要である。平成14年度の開催回数は年3回。</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	特記すべきものなし
		説明 市民のニーズが多様化する中で、図書館のあり方・方向性等につき図書館協議会委員から諮問等を受けるなど、その設置意義、必要性はより高くなっている。「より機能する図書館協議会」としてのあり方検討は必要であるが、図書館協議会が担う役割等の状況から今後も継続が必要である。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

--